

女性部 実務効率化のためのコミュニティサロン会開催

- 日時：令和3年7月29日（木）
午前10時30分
- 場所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- 出席者：16名（リモート参加3名）

本年度より女性部（東久保真弓会長）に創設された研修委員会（水野映里香委員長）主催の「実務効率化のためのコミュニティサロン会」が開催されました。



事業趣旨を説明する
水野研修委員長

司会・進行の水野委員長より事業内容についての説明後、東久保会長は「令和元年9月に女性部が設立され現在に到るまでの期間、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言によりいくつかの事業が延期・中止されましたが、昨年

の青山桂子副知事をお招きした「女性活躍推進セミナー」を開催できたことはとても印象深いです。現在、新型コロナウイルスの度重なる感染拡大で事業の開催が危ぶまれておりますが、本日も多くの会員の方にお集まりいただき、改めて対面で話し合う大切さに気がきました。今後、コロナ禍においては積極的にWebを活用した事業を展開し、愛知県女性部の活性化及び会員誘致を推進してまいりますので、皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。また、本日の内容が皆様の社内において役立てただけですよう、実り多き会となることを願っております。」と開会の挨拶を述べました。

テーマとなった実務効率化については、マニフェストについてが挙げられ、一次・二次マニフェストの紐付け



挨拶をする東久保会長

についてなどの話から始まり、事務処理で使用しているシステム名を挙げ、何故そのソフトが使いやすいのかなど実務者ならではの具体的な感想が出ました。

他には取り扱い廃棄物による違いから独自でシステムを構築している、混合廃棄物の取り扱いが多いのでどのようなシステムを取り入れていいのかわかっていると意見もあり、各社の取り扱い品目により実務の運営が様々であることを知りました。

データのファイル管理では、システムを運用している場合はPC上で管理されていますが、紙での対応という回答が意外に多く、月別にボックス型ファイルに分け身近で管理し1年毎に倉庫で5年間保管しているという意見が出たところ、「うちもそれしています。」と共感の声が上がりました。

業務のIT化の浸透については、配車の管理、ドライバー・営業マンのGPS管理を例に挙げ、タブレットで管理している、社内の配車ボードに記載して管理している、表計算ソフトで管理している、と各社の状況によるIT化の必要性の有無を踏まえた現場の話聞くことができました。

新型コロナウイルスのワクチン接種についての職場接種・個別接種では、地域により商工会議所の集団接種を利用している場合もあるようですが、多くは個別接種対応とのことです。中にはワクチン接種を拒否される従業員もいることから柔軟な対応が不可欠のようです。

今回出席された会員企業においては、社内の接種状況を把握し感染拡大防止に努め、副反応が出た場合は会社を休むなどの対応を取っているとの回答でした。

日常の業務を他社ではどのように効率化を図っているのか、なかなか踏み込んで聞きにくいところですがオープンな雰囲気です話し合えたコミュニティサロン会でした。

